

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年6月26日

埼玉県知事 殿



提出者

住 所 埼玉県熊谷市万吉芳場2843-10

氏 名 イニシオフーズ株式会社 熊谷工場

工場長 福原 充

電話番号 048-539-4441

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	イニシオフーズ株式会社 熊谷工場
事業場の所在地	埼玉県熊谷市万吉芳場2843-10
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	0996 惣菜製造業
② 事業の規模	製品出荷高：6,241百万円(2022年度実績)
③ 従業員数	239人(2023年6月現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	当工場より排出される産業廃棄物は以下の種別となる。 ・廃プラスチック ・汚泥 ・動植物性残渣 ・廃プラ混合物 いずれの産業廃棄物も分別の上、委託収集処分される。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
(管理体制図)					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
① 現状	【前年度（2022年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動植物性残渣	汚泥	混合物
	排出量	394 t	561 t	1343 t	8t
	(これまでに実施した取組) 1. 日々のロス実績、ロス金額を工場内での共有化し、一人ひとりがロスを減らす意識を高めた。 2. 工程中の食品残渣こぼれ・落下防止 3. 不適合品減少				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動植物性残渣	汚泥	混合物
	排出量	433 t	617 t	1477 t	9t
	生産数が上昇する為、排出量が増加する予定。 (今後実施する予定の取組) ・原材料使用量の設計と実績の差異を減らす。 ・製造の失敗による廃棄を削減する。				
産業廃棄物の分別に関する事項					
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・種別ごとに掲示板を設けて、一目で分かるようイラストを付けて置き場を管理している。				
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引き続き、現状の取り組みを継続し、分別の徹底を推進する。				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
① 現状	【前年度（ 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	
	(これまでに実施した取組)				
② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	
	(今後実施する予定の取組)				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
① 現状	【前年度（ 2022年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	汚泥	混合物-
	全処理委託量	394 t	561t	1343 t	8t
	優良認定処理業者への処理委託量	394 t	t	164 t	8t
	再生利用業者への処理委託量	394 t	561t	1343 t	8t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
<ul style="list-style-type: none"> 種類分別を日々注意喚起し、その他のゴミと混ざらないよう置き場を管理している。 					

② 計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	動物性残渣	汚泥	混合物
	全処理委託量	433 t	617 t	1477 t	9t
	優良認定処理業者への処理委託量				
	再生利用業者への処理委託量	433 t	617 t	1477t	9t
	認定熱回収業者への処理委託量				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、現状の取り組みを継続していく。 					
※事務処理欄					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。